

あごねっと便り

2015年10月 第20号

平成 27 年 10 月 31 日
発行: ながさき県北地域医療教育コンソーシアム
<http://agonet.jp/>



柿添病院

平成 27 年 10 月に柿添病院で研修させていただきました。柿添病院での地域研修は非常に充実しており、度島訪問リハビリ、中野診療所での訪問診療、乳児健診、保育園健診、県北保健所研修、留置所健診など普段経験することができない貴重な経験をすることが出来ました。また 10 月は柿添病院リハビリ運動会があり、それに参加することができました。数多くの患者さんと一丸となって運動会を楽しむことができ、都心部の病院ではなかなか見ることができない病院の癒しの部分を見ることができました。仕事以外の時間でも、各諸先生方に平戸、佐世保の食事処に連れて行ってもらったり、近所の居酒屋探訪をしたり、病院の方たちと飲みに行ったりと非常に楽しく過ごすことができました。1 カ月と短い期間でしたが、研修を通してお世話になった多くの方々に感謝しております。本当にお世話になりました。

甲斐 貴大(九州中央病院) 桑原 大作(福岡県済生会八幡総合病院)



青洲会病院

住民がどんな環境に住み、どんな仕事をし、どんなものを食べているのか。僻地や離島診療を行うには、そこにともに暮らし、その地域に愛着を持たないと始まらない。昼は多職種の方々の業務に同行させていただき、夜は多職種の方々やその友人の方々や職種や年齢の分け隔てなく酒を酌み交わし、僕は平戸やその周辺の美しい島々や海のことが好きになりました。それが地域医療の第一歩だと思う、そんな研修でした。医道を歩んでいくうえで貴重な財産となる大事な一ヶ月でした。本当にありがとうございました。

田村 貴明(横浜労災病院)

外来、往診、離島診療、稲刈り、夜は飲み会と様々な経験をさせていただきました。日常の診療では忙しく、身体診察を軽視してしまう傾向にありましたが、往診、離島診療などで、身体診察がいかに重要かということを再認識しました。また、慢性期医療を経験できたことは今後必ず生きてくると思います。2週間という短い期間でしたが、ありがとうございました。

原 和也(西神戸医療センター)

生月病院

生月病院で1カ月研修させていただきました。病院に初めて到着した時には、周囲には何もなくて、人も歩いておらず、病院に患者がはたして来るのかという不安な気持ちでした。しかし、朝になり病院が開く頃には地域の多くの方々が見えられ、待合が混み合っていて、病院がにぎわっておりギャップに大変驚かされました。高齢者の患者が圧倒的に多く、生月病院の医療は日本の未来の医療の縮小図である意味時代の最先端であるという事を実感しました。そして、医療の根本であるプライマリケアも体験させていただきました。健診や往診、健康指導など普段の研修生活ではできない事もさせていただき、病気を見るだけでなく、患者を診るという姿勢を改めて考えさせられました。地域に根差した医療に携わることができた有意義な1カ月でした。本当にありがとうございました。

荻田 龍介(静岡済生会病院) 中路 啓太(長崎大学病院)

平戸市民病院

計2名の研修医が1ヶ月間、平戸市民病院で地域研修をさせていただきました。外来、病棟業務、当直、訪問診療に加えリハビリ、健診などを体験させていただきました。急性期から慢性期だけでなく予防、元気老人の育成など将来を見据えた地域に根ざした医療を経験でき、多くのことを学ぶことができました。また平戸の新鮮な魚と平戸牛の美味しさは一生忘れられないと思います。医療スタッフの方々をはじめ地域の皆様、一ヶ月間本当にありがとうございました。

喜田 有未来(横浜労災病院) 杉田 景佑(北里大学病院)

